

# 目 次

第1章 計画の策定にあたって .....	1
1 計画策定の趣旨	
2 国の動向	
3 県の動向	
4 計画の位置づけ	
5 計画の期間	
第2章 塩谷町子どもの読書活動の現状と課題.....	3
1 前計画(第3期計画)の成果と課題	
(1)関係者・関係機関による評価	
(2)児童、生徒とその保護者を対象とした実態調査結果とそこから見える課題	
2 本計画(第4期計画)に求められること	
第3章 計画の基本目標と基本方針.....	8
1 基本目標	
2 基本方針	
3 計画の指標(数値目標)	
第4章 子どもの読書活動推進のための具体的な施策.....	9
1 発達段階に応じた読書活動の働きかけ～本との出会いの場づくり～	
(1)幼少期における家庭や保育機関での働きかけ	
(2)学齢期での学校等での働きかけ	
(3)町図書館の役割と働きかけ	
(4)地域(読書・読み聞かせボランティア)による支援と働きかけ	
2 家庭・地域・学校等の連携推進と読書環境の整備～いつでもどこでも「読みたい」を応援～	
(1)家庭や地域での読書環境の整備	
(2)保育機関や学校、学校図書館における読書環境の整備	
(3)町図書館における読書推進につながる環境の整備	
3 子どもの読書活動への関心を高める推進体制の整備～思いを共有、広げるために～	
(1)連携・協働に向けた推進体制づくり	
(2)推進の場づくりと啓発活動	
(3)推進リーダーとしてのボランティアの育成	
【関係施設等一覧】 .....	18
【資料編】 .....	19
(資料1)子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年施行)	
(資料2)関係者・関係機関による第2期計画の評価	
(資料3)小・中学生の読書活動に関する実態状況調査結果	
(資料4)町内小中学校での読書活動実施調査	
(資料5)第3期計画策定に係る協力、関係機関等一覧	

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

読書は、言葉を学び、豊かな情操と感性を育み、表現力と創造力を高めるなど、子どもの健やかな成長のために欠かすことのできないものです。さらに、大人にとっても知識や見識を深め、人生を心豊かに過ごす喜びを与えるものであり、また、次世代に読書活動の意義や楽しさを伝えていくことは、大人の大切な役割であるといえます。

子どもの読書活動を推進するためには、全ての子どもが本を読む喜びを味わい、主体的に読書活動を行うことができるよう、社会全体で読書環境の整備と更なる充実を図っていく必要があります。

近年、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による社会情勢の変化により、教育のデジタル化や生活のIoT化が進み、子どもを取り巻く環境も大きく変化しました。それらが読書活動に大きな影響を与えていることは否めません。

このような状況を踏まえ、時代の変化に対応しながら、本町の子ども読書活動を計画的かつ総合的に推進していくために、第4期塩谷町子ども読書活動推進計画を策定します。

## 2 国の動向

- ・平成13年12月 「子ども読書活動の推進に関する法律」の施行(4/23「子ども読書の日」制定)
- ・平成14年8月 「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定
- ・平成20年3月 「第二次子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定
- ・平成25年5月 「第三次子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定
- ・平成27年4月 「学校図書館法」改正
- ・平成30年4月 「第四次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- ・令和元年6月 「視聴覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」施行
- ・令和4年1月 「第6次学校図書館図書整備等5か年計画」策定
- ・令和5年3月 「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定

第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(2023.3.28閣議決定)では、止まらない不読率の低減に対して、幼いころからの切れ目のない読書習慣の形成を促すとともに、探求的な学習活動での学校図書館の利活用を推進することや、子どもの多様な個性に対応できるような電子図書や多言語対応など環境の整備を進め、子どもの視点に立った読書活動を推進することで読書への関心を高める工夫が解決策として示されました。そして社会全体で取り組みを進めるために推進法9条(資料1)に基づく計画の策定と関係機関との連携、また学校等においても学習の基盤となる言語能力の育成が重視され、様々な図書に触れる機会の確保とその支援について示しています。

## 3 県の動向

県では2024年3月に子どもから大人まで全ての県民の方を対象とした「栃木県読書活動推進計画2024~2030」が策定されました。

基本目標を「全ての県民が生涯にわたって読書に親しむ機会を広げる」とし、以下の3つの方針が示されました。

①ライフステージに応じた読書活動の推進

乳幼児期、小中学生期、高校生期、成人期の4つのステージごとに取り組を実施するとともに、それぞれのステージを越えた切れ目のない読書活動の推進を図ります。

②連携・協働による読書活動の推進

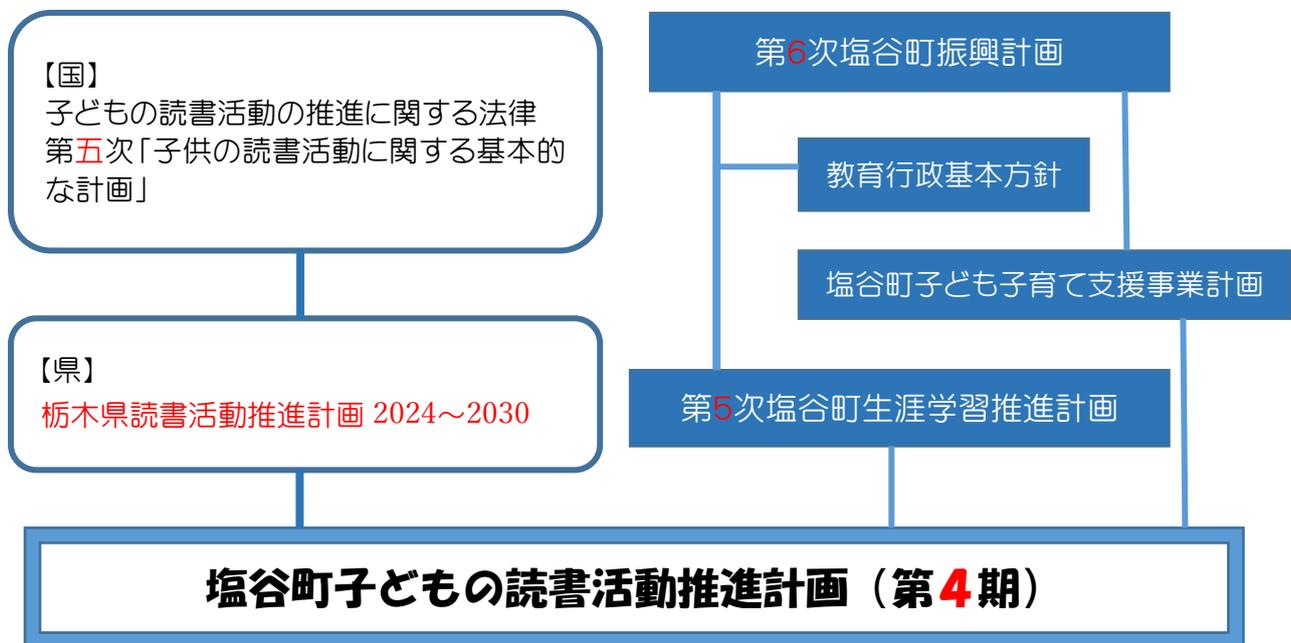
家庭や地域、図書館や学校等の様々な場において、それぞれの団体が連携・協働できる環境を整え、ネットワークの充実を図ります。

③読書に親しむ環境づくり

電子図書や点字図書など多様なニーズに対応できる読書環境を整備し、それらの周知を図りながら様々な読書活動を推進します。

4 計画の位置づけ

本計画は、先述の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(国)」及び「栃木県読書活動推進計画 2024～2030」を踏まえ、町の振興計画及び関連する部門別計画との連携、整合性を図りながら、施策の方向性や取り組み等を示していくことにします。



5 計画の期間

令和7(2025)年度から令和 11(2029)年度の5年間とし、必要に応じて計画の見直しを行います。

## 第2章 塩谷町の子ども読書活動の現状と課題

### 1 前計画（第3期計画）の成果と課題

#### (1) 関係者・関係機関による評価

町内4小中学校読書活動推進担当者、町小学校図書館事務員、町中学校図書館事務員、町内3保育機関、読み聞かせボランティア代表、家庭教育支援ボランティア代表者、町図書館事務職員を対象に前計画の実施状況について評価をしたところ、下記のような成果と課題が得られました。(資料2)

#### 【成果】

- 保育機関や学校、学校図書館では、読書活動推進の取り組みと環境の整備が充実している。
- 町図書館でも、展示や様々なイベントの工夫が見られ、読書スペースや学習コーナー等の環境の整備が進んでいる。
- 保育機関における職員への研修や家庭への啓発は十分に実施されている。
- 町の有志ボランティアによるお話し会及び学生ボランティアの育成が十分に実施されている。

#### 【課題】

- 家庭や地域による読書活動の支援と環境整備が不十分である。
- 推進体制の啓発活動、ボランティアの育成のための支援が不十分である。
- 多様なニーズ(外国籍の児童を対象とした絵本、障がいを抱えた児童のための貸出など)への蔵書の充実やそのための学校図書館と町図書館との連携した対応について、不十分である。

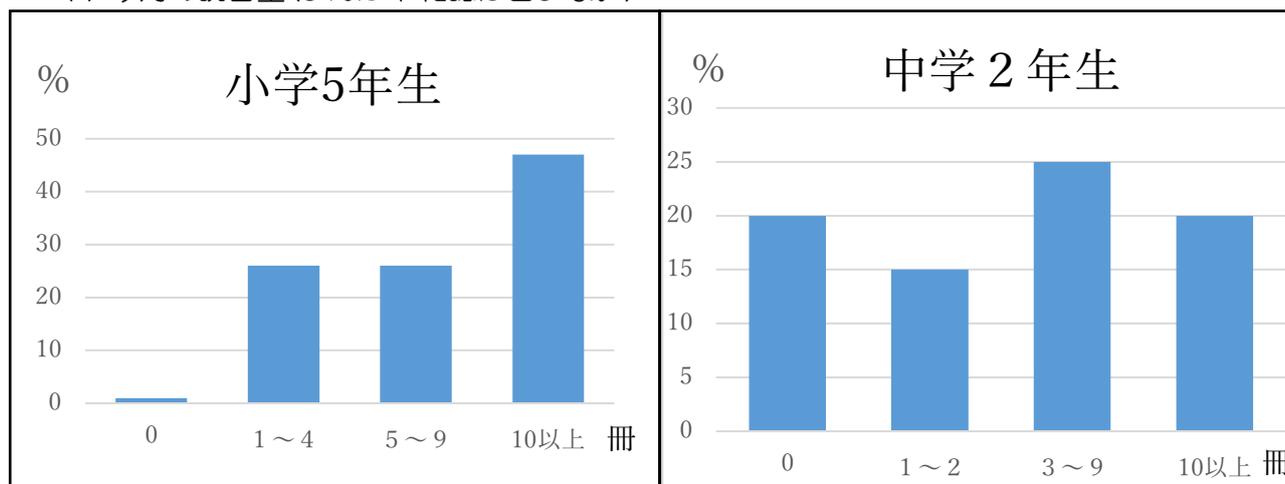
#### (2) 児童、生徒とその保護者を対象とした実態調査結果とそこから見える課題

令和6年11月に下記のとおり、町内3小学校5年生、1中学校2年生、その保護者を対象にアンケートを実施しました。(※両学年に子どもがいる場合は、小5生保護者として提出) (資料3)

対象者	小学5年生	小5保護者	中学2年生	中2保護者
人数	61	61	72	72

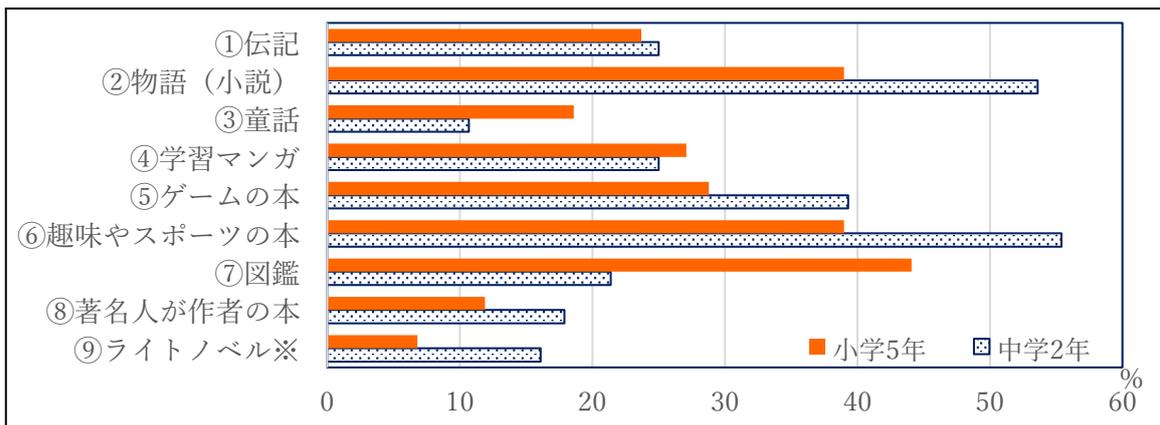
#### 【対象:小学5年生・中学2年生】

##### (1) 1ヶ月の読書量(まんがや雑誌は含まない)



前回調査(2020年)と同様、読書量が極端に少ない(0冊)の児童生徒が見られましたが、小学生より中学生の不読者が多い傾向にあります。(全体の2割)学年が上がるにつれ、部活動や習い事、学業中心の生活となることも要因の一つと考えられます。ライフスタイルに合った読書活動を提案していくことも必要です。

〈2〉読書のジャンル(どんな本が好きですか?)



※⑨「ライトノベル」(和製英語):小説の分類の1つ。表紙・挿絵にイラストを多用し、アニメ・漫画に親しんだ世代が読みやすいようにしたもの。ジャンルは恋愛・SF・ファンタジーなど多岐にわたる。

〈典拠:広辞苑第七版・岩波書店・2018.1.12〉

一見すると、全体的に物語(小説など)が多いですが、前回と比較して小学生で20%、中学生30%減少しています。対して、学習マンガ、ゲームの本、趣味・スポーツの本が増加傾向にあります。近年のマンガ需要の向上、ICT化、個性尊重の風潮により、読書ジャンルにも変化が現れていると考えられます。

〈3〉心への働きかけ(「心に残っている本やもう一度読んでみたい本はありますか」)

区分	小学生	中学生
「ある」と答えた割合	77%	69%

前回同様、読書活動が心に与える影響は大きいことが分かります。本の紹介やビブリアバトルなど、本について思いを伝え合う時間をもつことも、読書への関心を高める一助となるかもしれません。

〈4〉電子書籍利用の有無(「電子書籍を読んだことはありますか?(まんがは除く)」)

区分	小学生	中学生
「ある」と答えた割合	23%	45%

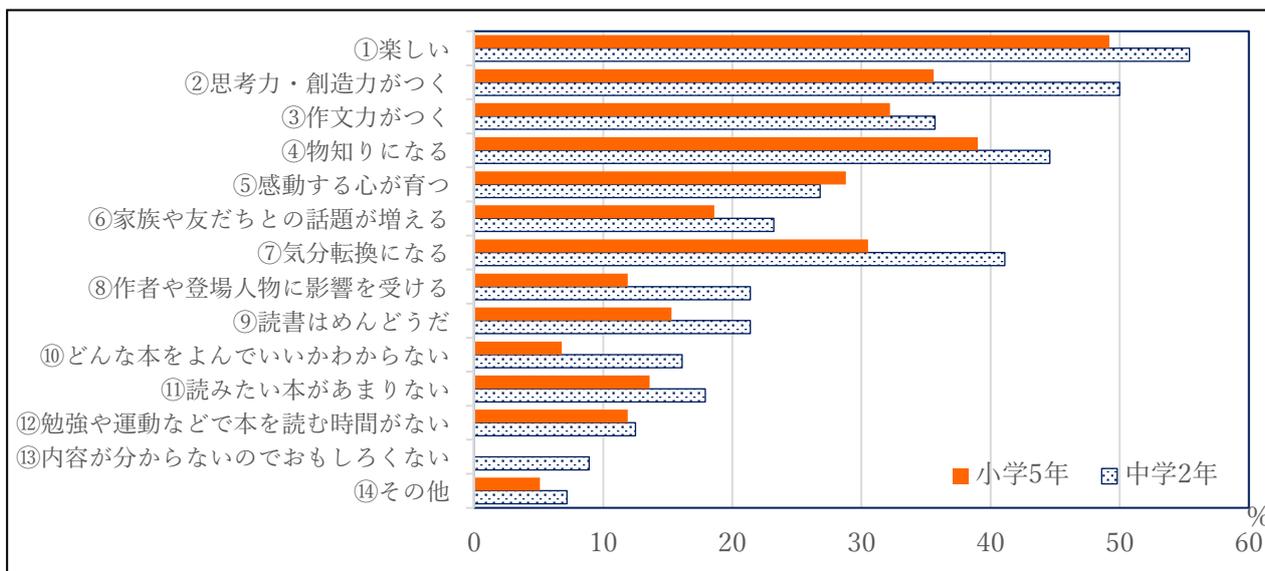
中学生では、半数の生徒が利用した経験があることが分かります。コロナ禍を経て、読書の在り方が大きく変化してきていることがうかがえます。ライフスタイルに合わせた読書活動の推進にとって、電子図書は欠かすことのできないコンテンツとなりつつあります。

〈5〉家庭での読書を話題とすることの有無

区分	小学生	中学生
「ある」と答えた割合	44%	22%

前回と比較し、小学生で『ある』と答えた児童は20%減少しました。家庭における読書活動への意識の低下が懸念されます。

〈6〉読書についての考え(3つまで選びました。)



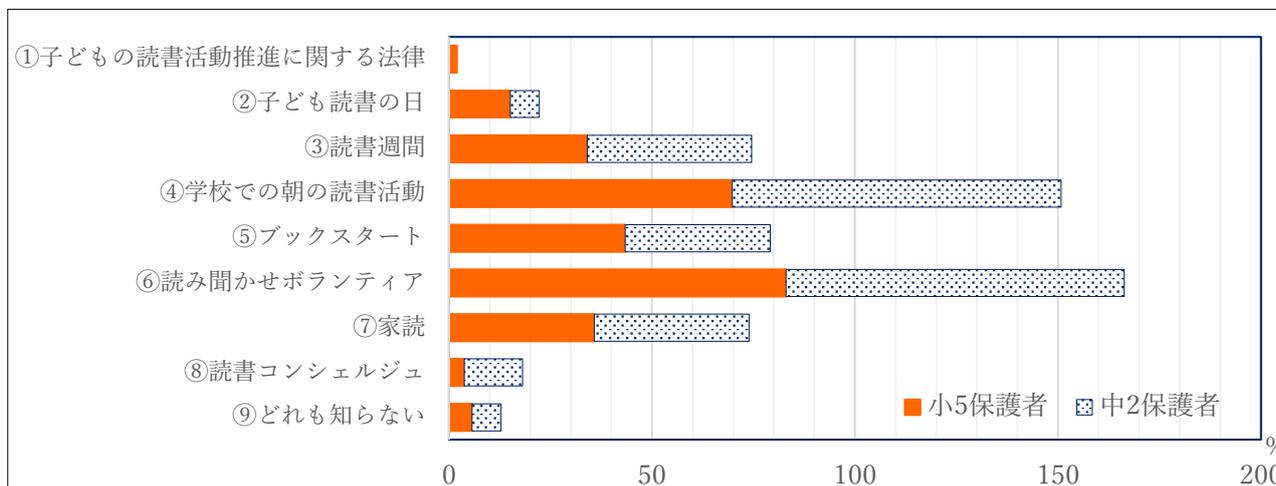
多くの児童生徒が『楽しい』『気分転換になる』という良い印象をもっています。また、『思考力・創造力がつく』『作文力がつく』といった学力に結びつくと考えている児童生徒も多く、プラスの回答が見られました。

反面、『めんどろだ』『読みたい本がない』など、消極的な回答も前回より多く、項目によっては全体の2割弱を示すものもありました。

こうした結果から、子どもの読書意欲を向上するためには、読書の良さや楽しさを実感し、継続した読書活動につなげることが必要です。そのためには、子どもを取り囲む家庭、学校、地域で子どもの好奇心が刺激される本との出会いの場をつくり、幼少期から『読書への好感度』を積み上げていくことが大切です。

【対象:小学5年・中学2年保護者】

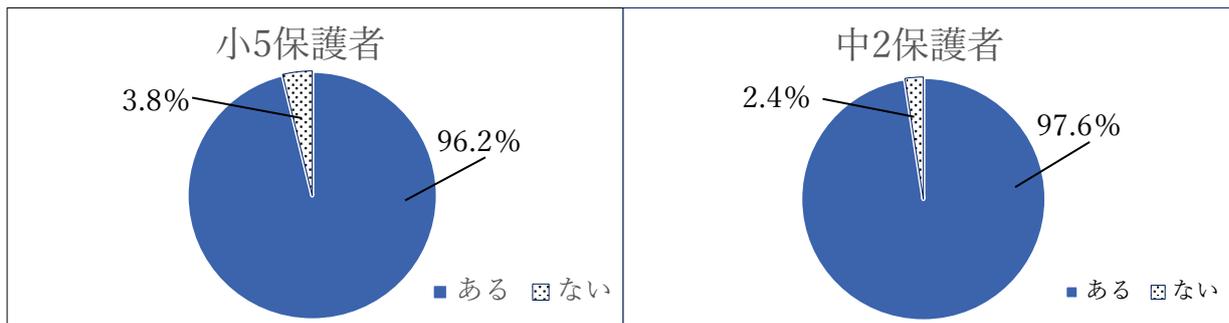
〈1〉子どもの読書活動推進に関する事柄の認知度



※⑦読書コンシェルジュ:今回新規の項目。高校生読書推進リーダー。同世代へ読書の楽しさを広める活動に取り組む。

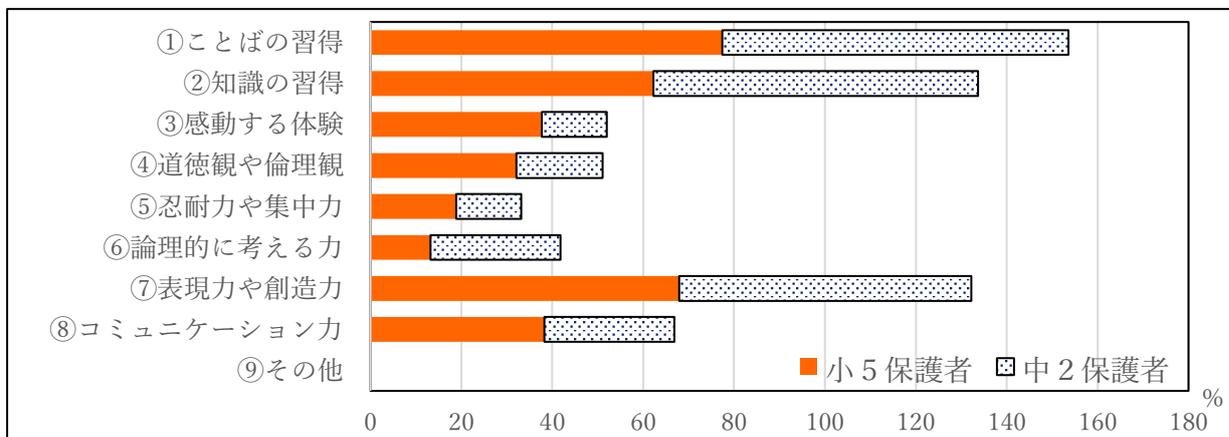
『ブックスタート』の認知度は、前回の2倍と大幅に増加しました。検診での取り組みが定着し、家庭への周知につながったと考えられます。読書週間、家読については認知度が大幅に低下しました。学校、地域で連携して取り組みを拡張するべく、啓発が必要と考えます。

## 〈2〉子どもへの読み聞かせの経験



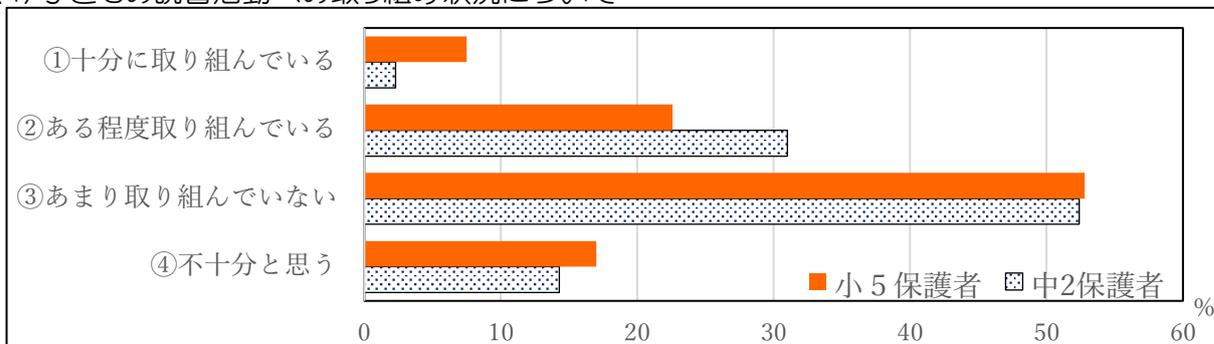
ブックスタート、保育機関、町図書館での取り組みや啓発により、家庭での読み聞かせが定着したと考えられます。乳幼児期の読み聞かせは、生涯の読書活動の基礎となります。今後も継続した取り組みが重要です。

## 〈3〉子どもが読書活動で得られることで大切だと思うこと(3つ)



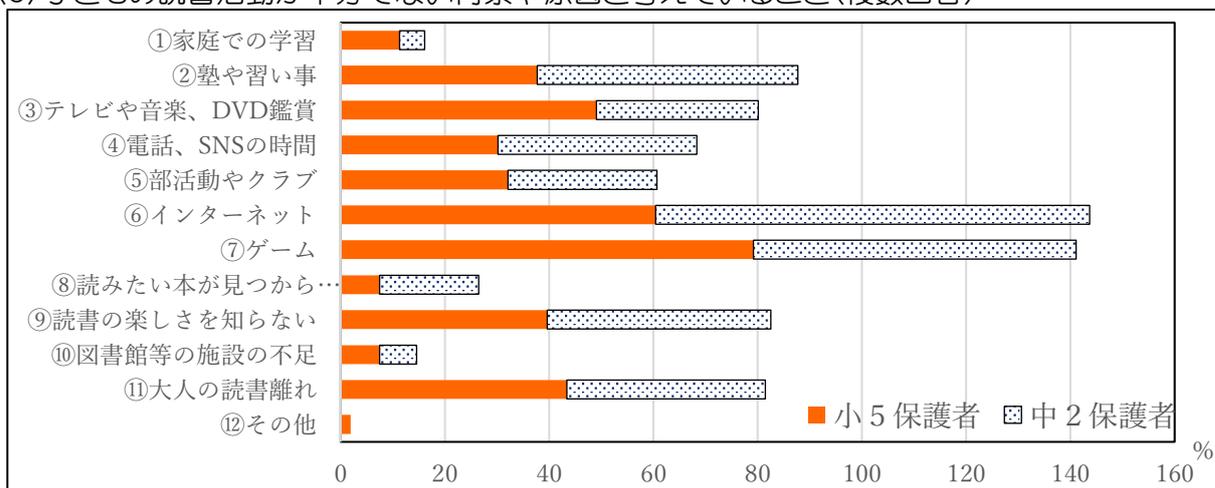
言葉や知識の習得、思考力・表現力・創造力などの能力の向上が期待できると考えている保護者が増加しています。一方で、感動する経験、道徳観や倫理観といった心に与える影響については、前回同様、大きな変化はありません。読書活動が心の成長に与える影響についても継続して保護者へ啓発していく必要があります。

## 〈4〉子どもの読書活動への取り組み状況について



保護者が感じる読書活動の取り組み状況は、前回と大きな違いを見せており、小中どちらの保護者も消極的な意見が多い結果となりました。これは、趣味・娯楽の幅が広がり、個人の嗜好が分散することで、子どもだけでなく大人の読書への関心も低下しているとも考えられます。

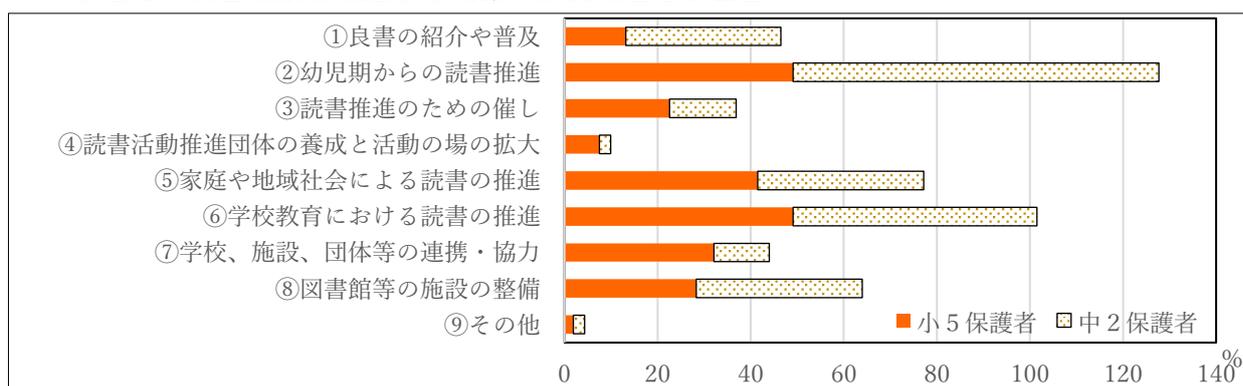
### 〈5〉子どもの読書活動が十分でない背景や原因と考えていること(複数回答)



インターネットが原因と考える割合は 145%弱、ゲーム 140%強と、依然として高い割合を占めています。その他、塾や習い事、テレビや DVD、読書の楽しさを知らない等も、80%強と、前回調査と比較して増加しています。

また、顕著な増加傾向にあるのが、大人の読書離れの 80%強です。子どもの読書活動の推進には、周囲の大人の読書活動への関心が大きく影響していると考えられます。

### 〈6〉子どもの読書活動を推進するために必要だと思うこと



依然として幼児期からの読書推進の割合が高く、130%弱を占めており、小さい頃から本に親しむことが大切と考えていることがわかります。

しかし、学校教育や家庭、地域での読書活動の推進が必要と考える割合も増えており、子どもを取り巻く社会全体で読書活動を進めていくことが必要と思われる。さらなる連携した取り組みの工夫が必要です。

## 2 本計画（第4期計画）に求められること

1の成果と課題から、乳児健診時のブックスタート事業や学校、学校図書館等での読書推進に関わる取り組みは有効であることがわかります。また、町図書館のイベントや地域の読み聞かせボランティアによるお話会も効果のある取り組みとして捉えられています。本計画でも引き続き、関係各課等や保育機関、学校等、また町図書館や読書に関わるボランティアと、共通理解の元、連携・協働して取り組みを進めていきます。

他方、読書ボランティアへの支援や家庭での働きかけ、地域の読書環境の整備、読書に関心をもつ児童生徒の減少、不読率の上昇といった課題があります。子どもが楽しく、主体的に読書に取り組む姿勢を育むために、ソフト面(読書への関心を高める取り組み等や人材の育成)とハード面(環境作り等)の両面を充実させる取り組みを進め、子どもの読書活動の推進につなげていきます。

## 第3章 計画の基本目標と基本方針

### 1 基本目標

第3期計画では、『子どもたちが読書の喜びを感じられるように』をキャッチフレーズに、子どもが読書の楽しさを味わい、感性豊かに育つための読書環境の整備と充実を進めてきました。

第4期計画では、これまでの活動を基盤として、本町のすべての子どもが読書の楽しみを知り、主体的に読書活動に向かい、自分のよさや可能性を広げるためのあらゆる力を育むことを目指し、下記の通り基本目標を掲げます。

読書で広げる しょやっ子の未来 ～本との出会いをプロデュース～

### 2 基本方針

子どもの主体的な読書活動が行われるためには、読むこと自体の楽しさを感じることや、読書による充実感や満足感を得ることが重要です。そうした経験は、生涯を通じて学習意欲やウェルビーイングの向上に繋がります。

そのために、次の3つを基本方針として、町全体で子どもの読書活動を推進します。

【基本方針1】 発達段階に応じた読書活動の働きかけ  
～本との出会いの場づくり～

【基本方針2】 家庭・地域・学校等の連携推進と読書環境の整備  
～いつでもどこでも『読みたい』を応援～

【基本方針3】 子どもの読書活動への関心を高める推進体制の整備  
～思いを共有し、広げるために～

### 3 計画の指標（数値目標）

基本目標の実現に向けて、次の数値目標を設定します。

#### ●1ヶ月に本を1冊も読まない子どもの割合（不読率）

区分	現状値(2023年度)	目標値(2028年度)	参考 (県現状値)
小学5年生	1.6%	0%	6.4%
中学2年生	19.6%	15%	14.8%

※県参考は、「栃木県読書活動推進計画2024～2030」から

#### ●「読書についての考え(3つまで)」の質問に「読みたい本がないと答えた子どもの割合」

区分	現状値(2023年度)	目標値(2028年度)	参考 (前計画値)
小学5年生	13.6%	10%	15%
中学2年生	17.9%	15%	9%

※参考は令和5年実施の町実態調査結果から

## 第4章 子どもの読書活動推進のための具体的な施策

前章の3つの基本方針に沿って、取り組みを進めていく上で、子どもの発達の段階や多様性に応じた働きかけと、子どもの読書活動に関係する各機関や団体、ボランティア等との連携・協力が欠かせません。

各々がその役割を理解し、子どもの読書活動で得られる心身の成長の重要性等を共有して進めることができるように、各機関等の具体的な取り組みを示しています。

### 1 発達段階に応じた働きかけ～本との出会いの場づくり～

生涯にわたる読書活動は、人生を豊かにしてくれる営みです。子どもが生涯にわたる読書習慣を確立するためには、幼少期からの本との触れ合いや学校生活、地域社会等での日常的な読書活動との関わりが必要です。そのためには、子どもの発達段階に応じて本の面白さや楽しさ、読書の良さを感じられるような働きかけが求められます。

#### (1) 幼少期における家庭や保育機関での働きかけ

(  チェック！ 欄について:実施の有無や評価等を可視化できるように設けてあります。)

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	関係機関等
<input type="checkbox"/>	ブックスタート(※1)、セカンドブック事業(※2)の実施	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	ブックスタート等におけるボランティアによる読み聞かせ ※保護者が家庭で読むことを勧めます。	生涯学習課 読み聞かせボランティア
<input type="checkbox"/>	各家庭での読み聞かせ等(父・母・祖父母等、保護者・家族)	各家庭
<input type="checkbox"/>	こども園・保育園による絵本や紙芝居等の貸出や本の紹介 (家庭での読み聞かせの推進)	各保育機関
<input type="checkbox"/>	子育て支援に関係する機関との連携による、乳幼児やその保護者を対象としたお話会の開催	たんぽぽ広場等
<input type="checkbox"/>	学校や町図書館、生涯学習センターや各コミュニティセンターにおけるお話会、イベントの協力(絵本の展示など)	町図書館 町生涯学習センター
<input type="checkbox"/>	こども園・保育園での読み聞かせや紙芝居、絵本等を基にした劇遊びの実施など。	各保育機関
<input type="checkbox"/>	読み聞かせボランティアによるお話会等の開催	生涯学習課 町図書館 読み聞かせボランティア
<input type="checkbox"/>	お話上映会、布絵本、大型紙芝居や仕掛け絵本など、子どもの興味を引く多様な催しの開催	各保育機関 町図書館

※1 ブックスタート(bookstart)事業:1992年にイギリスのバーミンガムにおいて始まった運動で、主に乳幼児とその親と一緒に絵本等を読むことにより、親子関係や乳幼児教育に役立てようとするもの。塩谷町では10ヶ月健診に併せて実施し、「アドバイスブック」と絵本2冊を入れた布製バックを贈っている。

※2 セカンドブック(secondbook)事業:「ブックスタート」に継ぐ事業。子どもの年齢に合わせた本をプレゼントし、自発的な読書活動につなげようとするもの。塩谷町では、2022年より、2歳6ヶ月健診にて実施している。



(2) 学齢期での学校等での働きかけ

☑	具体的な取り組み	関係機関等
☐	朝の読書活動やボランティアとの連携による読み聞かせやブックトークの実施(読書に親しむ雰囲気作り)	各学校 読み聞かせボランティア
☐	長期休業中の読書活動推進につながる読書の啓発や推薦図書を紹介	各学校
☐	小中学校における電子図書の利活用(朝読、授業での調べ学習等)	各学校・町図書館 生涯学習課
☐	図書委員会だよりや校内放送等の活用による本の紹介(児童会や生徒会、図書委員など、子ども自身の活動)	各学校
☐	読書を活発にする活動の実施(並行読書、読書!ルー、読書ビンゴ、多読児童の表彰など)	各学校
☐	読書活動推進につながる展示(絵画、感想、物語創作など)やお話会、ビブリオバトル(※2)などの啓発的なイベントの開催	各学校 町図書館 生涯学習課
☐	図書委員による読み聞かせやブックトーク	各学校
☐	親子読書や親子読書!ルーの紹介や実施	各学校・家庭 町図書館
☐	学校図書館における利用指導に関する年間計画に沿った、マナーや図書検索の仕方(本の探し方)の活用に関する基礎的、基本的な能力の育成および、児童生徒の主体的・自発的な図書委員会活動の支援	各学校 学校図書館 学校教育課
☐	町内図書館共通スタンプカード等の活用	各学校・町図書館
☐	町図書館見学の実施	各学校・町図書館
☐	子ども同士(友人同士)でのオススメの本の紹介活動(例)読書の木、読書郵便など。	各学校
☐	学級文庫や必読図書コーナーの設置	各学校
☐	校内読書週間の設定	各学校
☐	中学校での町図書館利用についての推進 ・読書や情報収集について、また自主学習コーナーについての利用案内	塩谷中学校 町図書館

※2 ビブリオバトルとは:書評合戦と呼ばれるゲーム。おすすめの本の紹介とそれに対するディスカッションのあと、一番読みたくなった本を投票で決める。県内では主に高校生を対象に勧められているが、中学生でも簡易なものを進めていけるとよいと考えます。



ブックスタート事業



小学校による図書館見学と貸出体験

(3) 町図書館の役割と働きかけ

子どもの読書活動の推進において、町の情報や活動の発信の中心として、また各関係機関の連携・協力の中心的な役割を担っています。

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	関係機関等
<input type="checkbox"/>	広報誌等での新着図書やオススメの本の紹介	町図書館
<input type="checkbox"/>	小・中学校の教職員(司書教諭等)や子どもたちからのリクエストによる選書の購入	各学校 町図書館
<input type="checkbox"/>	小・中学校、ボランティア団体、学童保育クラブ等への長期団体貸出	各機関 町図書館
<input type="checkbox"/>	小・中学校での利用を目的とした電子図書の購入	町図書館
<input type="checkbox"/>	障がいのある子どもが読書の楽しさと出会う機会を得るために、関係諸機関と連携し、様々な障害の程度や内容に応じた子ども向けの展示図書や録音図書等の収集や貸借、施設への貸出支援	各学校・保育機関 社会福祉協議会 県福祉関係機関
<input type="checkbox"/>	外国の絵本等、多彩な図書の提供	各学校 町図書館
<input type="checkbox"/>	テーマごとのコーナーの設置や「おすすめの本」コーナーなどの設置	町図書館
<input type="checkbox"/>	町図書館を会場にしたお話し会・読み聞かせ会の開催 (例)おはなしひろば@しおや・ぬいぐるみのお泊まり会等	町図書館 読み聞かせボランティア
<input type="checkbox"/>	町内図書館共通スタンプカード等の活用	町図書館
<input type="checkbox"/>	しおりづくりやブックカバーづくりなど読書に付随する楽しみの提供	町図書館
<input type="checkbox"/>	図書館まつりや季節ごとの工作、その展示など、子どもたちが図書館で楽しめるイベントの実施	町図書館
<input type="checkbox"/>	本の紹介カードの作成や感想カード、オススメカードなど、子ども同士で本を紹介できる掲示物の工夫	町図書館
<input type="checkbox"/>	推薦図書や課題図書を紹介する取組	町図書館等
<input type="checkbox"/>	レファレンスサービス(※3)機能充実のための研修会への参加(職員の資質の向上)	生涯学習課 町図書館等
<input type="checkbox"/>	町図書館見学(主に小学生)時における利用の仕方の紹介や読み聞かせボランティアによる読み聞かせ	各学校・町図書館 読み聞かせボランティア 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	DVD 上映会の開催 ・図書館への関心を高め、来館した折に絵本や本を勧める。	町図書館 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	図書館ボランティアや職業体験の受け入れ ・本や読書活動への関心を高める。	町図書館 生涯学習課

※3 レファレンスサービスとは:「調査相談」 図書館職員が図書館資料と機能を活用して、必要としている資料の検索方法を教えたり、回答を提供したりするサービスのこと。



マイチャレンジ中学生のポップづくり



中学生の作った紹介コーナー

(4) 地域(読書・読み聞かせボランティア)による支援と働きかけ

☑	具体的な取り組み	関係機関等
☐	家庭教育学級講座や図書館まつり、コミュニティまつりなど、地域のイベントの機会を利用したお話会の開催(紙芝居、人形劇など)	生涯学習課 読み聞かせボランティア 各コミュニティセンター
☐	「絵本の選び方」「読み聞かせの方法」など、保護者やボランティア、保育士、先生等を対象とし、家庭や地域、保育機関、学校等で実施するための支援となる講座や学習会の開催	生涯学習課 県立図書館 読み聞かせボランティア
☐	読み聞かせボランティア等によるお話会の開催とその支援	町図書館 生涯学習課 ボランティア団体★
☐	絵本づくり教室などの開催支援(本への興味関心)	生涯学習課
☐	ブックトーク講習会(ブックトークのやり方など)	生涯学習課
☐	「塩谷町の大人が選んだ しおやっ子の本棚50選」の作成	生涯学習課 関係機関
☐	多言語による読み聞かせや電子図書上映会	生涯学習課 地域ボランティア

## ★読み聞かせボランティアによるお話会(団体) ～おはなしひろば@しおや～

平成26年に町内の有志ボランティアによって、塩谷町図書館にて、スタートし、月1回、主に第3日曜日に開催しています。

園児や低学年の児童向けに読み聞かせや紙芝居、また工作遊びなどを町図書館の幼児スペースにて実施しております。

中高生の学生ボランティアも募集し、絵本の選び方や読み方などの研修会を開催して、読書ボランティアの育成にも尽力しています。学生ボランティアが企画したイベント(クリスマスやハロウィン等)も開催しており、町内の園児や小学生が参加し、楽しく本に触れる貴重な機会となっております。



## 2 家庭・地域・学校等の連携推進と読書環境と整備

～いつでもどこでも「読みたい」を応援～

子どもが読書の楽しさや喜びを知るためには、子どもの発達段階に応じた読書に対するきっかけづくりや、読書の幅を広げ、読書体験を深めるような機会を得ることができる環境作りが必要です。また、子どもの『読みたい』や、大人の『読んであげたい』と言う思いに応えるための、多様なニーズに合わせた読書環境が必要です。

本を手に取りやすく、いつも身近に本がある読書環境の整備、充実を図ります。

### (1) 家庭や地域での読書環境の整備

生涯学習センター・各コミュニティセンター・町内病院や企業にも…大人の読む姿を！

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	連携・関係機関等
<input type="checkbox"/>	子育て支援に関わる施設(たんぽぽ広場、しおらんど等)での絵本の配架や貸出、リユースの取組	子育て支援関係機関
<input type="checkbox"/>	各コミュニティセンターでのミニ文庫(絵本・児童書等)の設置(古書のリサイクルを兼ねるなど)	各コミュニティセンター 町図書館
<input type="checkbox"/>	近隣市町図書館での貸出カードの作成の広報周知 ○さくら市・矢板市(どなたでも可能) ○宇都宮市・日光市(市内通勤通学者は可能)	各市立図書館
<input type="checkbox"/>	玉生・大宮コミュニティセンター窓口での貸借 ・遠方で町図書館まで来館できない際、HP 上で本を検索して、各コミュニティセンターを介して本を借りたり、返したりすることができるようにする。	各コミュニティセンター 町図書館

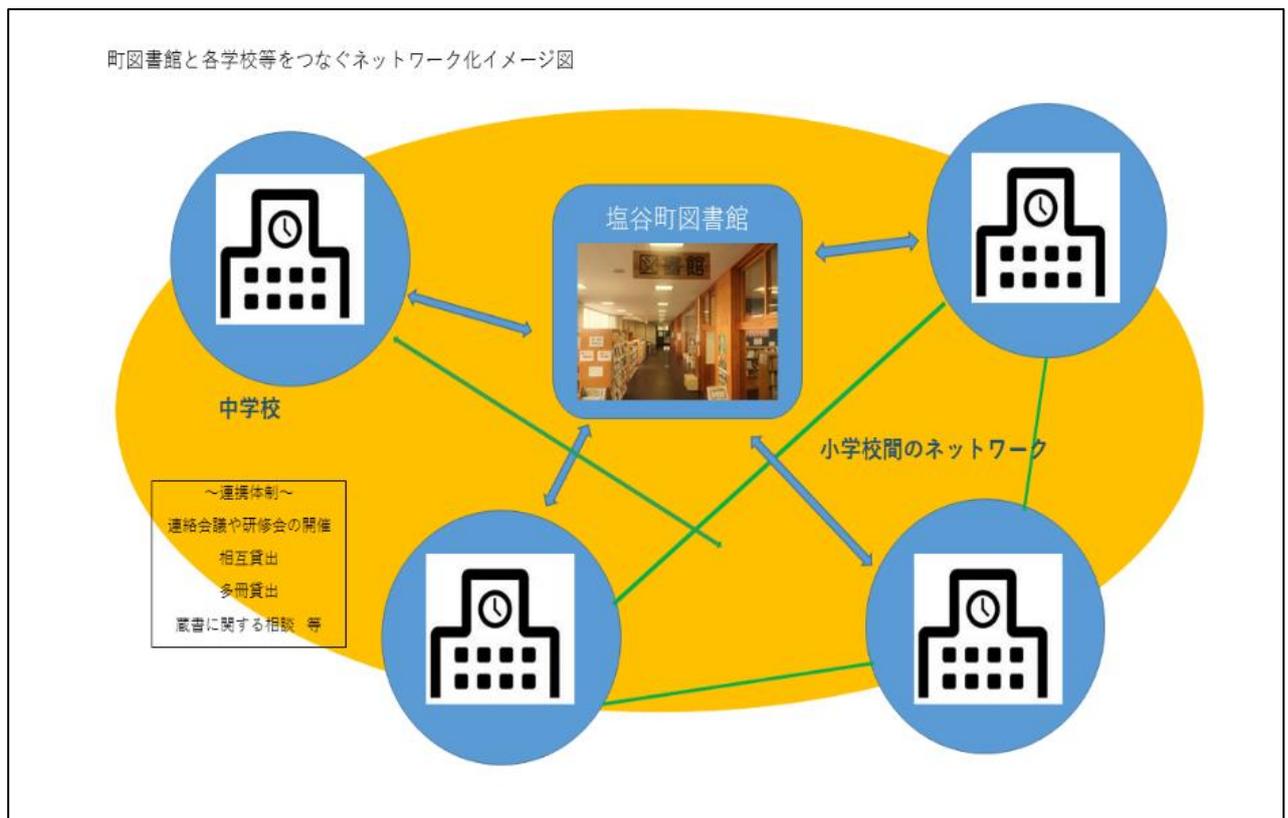
### (2) 保育機関や学校、学校図書館における読書環境の整備

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	連携・関係機関等
<input type="checkbox"/>	家読コーナーや必読図書コーナー、また、様々なジャンルの図書のコーナーの設置	保育機関 学校図書館 学校フリースペース等
<input type="checkbox"/>	学級文庫の設置	各学校・学級
<input type="checkbox"/>	様々なジャンルの図書の収集、整理、子どもたちが手に取りやすい配架の工夫	保育機関 学校図書館
<input type="checkbox"/>	児童・生徒の読書傾向の把握につとめ、発達の段階に即した、興味関心、知的な刺激を与えられるような魅力ある図書資料の収集	各学校 学校図書館
<input type="checkbox"/>	読書を楽しむ場となるような人的、物的な環境の整備(掲示物の工夫等も含む)	学校図書館 学校フリースペース等
<input type="checkbox"/>	他校や町図書館等との連携による多様なニーズへの対応(障がいをもつ子どもや外国語に親しむ子どもたちの読書活動の機会の確保と拡充)	各学校等 町図書館
<input type="checkbox"/>	図書の分類や配架の工夫、本の紹介コーナー(先生選・児童生徒選)の設置 (例)・高学年が選ぶ低学年にオススメの本 ・中学生が選ぶ小学生にオススメの本 ・教職員が選ぶオススメの本 など	学校図書館

<input type="checkbox"/>	「学校図書館図書基準」に基づく蔵書の充実	学校図書館
<input type="checkbox"/>	司書教諭や学校図書館事務職員の効率的な配置および活用による、魅力ある図書館作り	各学校 学校教育課
<input type="checkbox"/>	PTA や地域による図書館ボランティア(環境整備等)の活用	各学校・生涯学習課
<input type="checkbox"/>	町図書館との連携、学校間の相互利用システムの活用 (町図書館と各学校等をつなぐネットワーク化) ○蔵書データを整備し、予約システムの充実を図るとともに、学校図書館とのオンライン化(学校図書館資源共有ネットワーク)についての研究	学校教育課 生涯学習課 各学校・学校図書館 町図書館
<input type="checkbox"/>	各教室やワークスペース等を利用した図書コーナーの設置や学習などでの効果的な活用方法の研究	学校図書館 各学校
<input type="checkbox"/>	学習センターとしての機能の充実 ・授業や調べ学習などで主体的に探し、調べやすい配架や蔵書の収集、確保 ・町図書館や他校との連携 ・空間的な整備(机・椅子の設置・案内板の工夫) ・パスファインダー(※4)や調べ学習進め方カード等の支援	学校図書館 各学校 町図書館
<input type="checkbox"/>	中学生図書委員による図書館整備(主体性の育成等)	塩谷中学校

※4 パスファインダーとは: 特定のテーマについて、関連する資料や情報を、その検索方法・入手方法をまとめたカードやリーフレットのこと。(探し方の道しるべ)

### 構想図



(3) 町図書館における読書推進につながる環境の整備

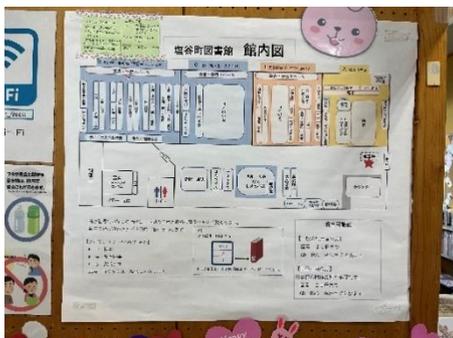
読書活動を推進するためには、いつでも身近なところに本があり、楽しく読書ができる環境を整備することが大切です。

町図書館は、誰でも自由に利用でき、町民の読書活動の中心的な役割を担う施設です。子どもにとって魅力のある本だけでなく、大人にとっても利用したいと思える本を配架し、多くの人が集える居心地の良い空間を作ることも必要です。

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	関係機関等
<input type="checkbox"/>	電子図書館の充実や各学校との連携	町図書館
<input type="checkbox"/>	乳幼児、園児、低学年児童向け絵本の紹介、家読向けの本、教科書に出てくる物語や小説など、各発達段階や学年等に応じたコーナーの設置	町図書館 保育機関 各学校
<input type="checkbox"/>	ライトノベルやヤングアダルト(※5)コーナーの設置 (小学高学年から中学生、高校生の読書活動への興味関心を高める)	町図書館
<input type="checkbox"/>	放課後児童クラブへの本や紙芝居等の貸出	健康生活課 放課後児童クラブ
<input type="checkbox"/>	小学校1年生入学時の図書貸出カードの作成と配布	各学校
<input type="checkbox"/>	年齢に応じた絵本や児童向け図書の購入や整備 (推薦図書の充実)	町図書館
<input type="checkbox"/>	学校等との連携による学習等に役立つ図書資料等の収集と貸出方法の整備(学校用図書カードによる多冊貸出等)	町図書館 各学校
<input type="checkbox"/>	子どもたちの多様で幅広いニーズへの対応 ・子どもによるリクエストの受付と収集 ・外国の本の収集や点字図書や拡大図書等の収集 ・県立図書館など、他館との連携による充実 ・保育機関や各学校への貸出	町図書館 県立図書館 県福祉関係機関等 保育機関 各学校
<input type="checkbox"/>	児童生徒の興味関心の把握による選書の充実 ・アンケートの実施や子どもの読書関係者等による選書	町図書館・各関係機関 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	「栃木県図書館総合検索ネットワークシステム」の活用 (県立図書館や市町立図書館との相互貸出機能)	県立図書館等
<input type="checkbox"/>	職員による公共図書館運営等に関する研修への参加	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	学習センターとしての機能整備(机や椅子等の環境整備)	町図書館
<input type="checkbox"/>	子どもたちが本を探しやすい配架や案内板の工夫 (ポップの掲示や図書館子どもマップの作成など)	町図書館
<input type="checkbox"/>	町図書館ホームページの充実(読みたい本を探しやすく)	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	休息スペース(飲食等可能スペースを含む)の確保 ・利用しやすい図書館作り	町図書館 (生涯学習センター)

※5 ヤングアダルト(YABooks):10歳台後半~20歳台前あたりの若者向けの本。

各出版社から「YA」(ヤングアダルト本)として出されている。



町図書館案内図



季節のコーナーの充実

### 3 子どもの読書活動への関心を高める推進体制と啓発

～思いを共有し、広げるために～

子どもが読書の喜びを知り、継続的な読書習慣を確立するためには、子どもの読書活動に関わるすべての大人が読書のよさやその意義を共有し、携わる必要があります。

家庭、地域、学校の各関係機関や関係者が、各々の役割を意識して、読書活動推進の啓発に向けて取り組むよう努めていくことが大切です。

#### (1) 連携・協働に向けた推進体制づくり

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	関係機関等
<input type="checkbox"/>	保育・教育関係機関担当者及び学校図書館担当者、町図書館担当者等との連絡会、研修会等の開催 ・他市町図書館見学、勉強会など。	各関係機関
<input type="checkbox"/>	効果的な推進のための読書・読み聞かせボランティア連絡会や研修会の開催、情報交換会(読ませたい本や読み方、町図書館で購入して欲しい本など。)	読み聞かせボランティア 生涯学習課 町図書館
<input type="checkbox"/>	子どもたち(主に園児)の絵本への興味が高まるような意識の高揚や指導力の向上をめざした職員研修	各保育機関
<input type="checkbox"/>	家庭教育支援事業における保育機関や学校での説明会	各関係機関・生涯学習課
<input type="checkbox"/>	家庭教育支援推進団体等との連携	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	障害のある児童等への支援やサービスの促進に向けての連携・情報交換	健康生活課・福祉課・ 学校教育課 社会福祉協議会

#### (2) 推進の場づくりと啓発活動

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	関係機関等
<input type="checkbox"/>	乳幼児学級等での子どもの読書活動の大切さの啓発 ・ブックスタート事業 ・おひさま教室(ママ応援講座)等での読み聞かせや町図書館の利用についての紹介	健康生活課 生涯学習課 子育て支援施設等
<input type="checkbox"/>	園だよりによる推薦図書や絵本の紹介(保護者向け情報提供)	各保育機関
<input type="checkbox"/>	本に親しむ機会の提供及び、幼児期の読書活動の重要性について、保育参観等の機会を捉えて啓発を行う。 (保護者対象の読み聞かせの実施など)	各保育機関 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	家読(うちどく)の啓発と推進 ・家庭での読書時間の確保や読書習慣づくりに向けての啓発 ・読書の大切さ(知識の広がり・心の成長など)への理解 (広報、学校等での便り、保護者会、講演、ちらしなど)	各学校 学校教育課 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	学校・学年・学級だより、PTA 活動や PTA 広報等による啓発	各学校
<input type="checkbox"/>	親学習プログラム(※6)による読書推進の啓発	各関係機関・生涯学習課
<input type="checkbox"/>	町ホームページを活用して、子ども向けの図書情報を提供	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	「広報しおや」、「町HP」での情報の提供 ・新着図書のお知らせ ・読書週間やイベント情報 ・おはなしひろば@しおや(P12)のお知らせ など	町図書館 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	「4月23日子ども読書の日」(※7)及び「子ども読書週間」についての PR や啓発 ・町図書館でのイベント(スタンプラリー等)の実施	各保育機関・各学校 町図書館・生涯学習課 健康生活課 学校教育課

<input type="checkbox"/>	町図書館を活用した啓発活動 ・図書館まつりやビブリオバトル、お話し会、民話語りの開催 ・ぬいぐるみお泊まり会などのイベントの開催	町図書館 地域ボランティア
<input type="checkbox"/>	ブックリサイクル(古本市)などの開催(※8) ・生涯学習フェスティバルや各コミュニティまつり等	生涯学習センター 各コミュニティセンター
<input type="checkbox"/>	リサイクル本を町内の病院(医院や歯科医院)などに提供。 (連携して、子どもたちが本に触れる機会をつくる。)	町図書館 町内医院等
<input type="checkbox"/>	たんぼぼ広場(子育て支援)やしおらんど(準児童館)、放課後児童クラブ等に絵本や児童書を提供する。	町図書館 健康生活課 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	「塩谷町の大人が選んだ しおやっ子の本棚50選」による啓発	町民・各関係機関

※6 親学習プログラムとは:子育てに必要な知識やスキルについて、保護者同士が身近なエピソードやワークを通じて話し合い、交流しながら、主体的に学ぶ参加体験型学習プログラムのこと。

※7 「4月23日子ども読書の日」とは:国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるめるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により定められたもので、シェイクスピアとセルバンテスの命日である4月23日をユネスコが「世界本と著作権の日」と宣言していることにちなんだものです。また、4/23~5/12を「子ども読書週間」としています。

※8 児童書だけではなく、広いジャンルを提供し、大人の読書活動推進にもつなげることで、子どもへのよい啓発となることを期待します。

### (3) 推進リーダーとしてのボランティアの育成

<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な取り組み	関係機関等
<input type="checkbox"/>	ホームページや広報誌でのボランティアの募集	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	ボランティア同士の連携のための研修講座の開催や活動のPR、また技術向上や活動拡大に向けた取組への支援	生涯学習課 各学校等
<input type="checkbox"/>	「読み聞かせ」「ブックトーク」「選書について」など、各テーマを決めた研修会の開催	生涯学習課 ボランティア
<input type="checkbox"/>	各種補助事業を活用して活動の充実を図る等の団体支援	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	県主催研修会への参加支援	生涯学習課
<input type="checkbox"/>	各学校での読み聞かせボランティアについての情報提供をもらい、町からも子どもの読書活動推進についての資料等を提供するなどの連携支援	各学校 生涯学習課
<input type="checkbox"/>	他市町の読書ボランティアとの合同研修会 他市町図書館(学校図書館を含む)の視察研修 など	生涯学習課 各市町図書館



ブックトーク(塩谷中)



ブックトークボランティア交流(塩谷中図書館)

【関連施設等一覧】

施設名	所在地・問い合わせ先	利用について
塩谷町図書館	■塩谷町船生 989-1 ■電話:0287-47-0088 ■Fax :0287-48-7504	■利用時間(図書館) 全日:午前9時～午後6時 ■休館日 毎週月曜日・第3日曜日
玉生コミュニティセンター	■塩谷町玉生 681 ■電話:0287-45-0050	■休館日 毎週月曜日・第3日曜日・祝日
船生コミュニティセンター (生涯学習センター内)	■塩谷町船生 989-1 ■電話:0287-48-7503	■休館日 毎週月曜日・第3日曜日・祝日
大宮コミュニティセンター	■塩谷町大宮 1028-2 ■電話:0287-46-0116	■休館日 毎週月曜日・第3日曜日・祝日
野いちご館 (子育て支援施設)	■塩谷町玉生(玉小東側) ■電話(健康生活課)	■利用についての詳細は健康生活課まで ※ブックスタート・セカトブック実施施設
たんぼぼ広場 (認定しおやこども園敷地内)	■塩谷町玉生 1057-83 ■電話(こども園) 0287-45-0513	■利用についての詳細は認定しおやこども園まで
こども未来館 (愛称:しおらんど)	■塩谷町大久保 1401 ■電話(健康生活課) 0287-45-1119	■利用時間 午前10時～午後3時 ■休館日 毎週月～金曜日、年末年始 ■入館料 子ども1人 300円 (塩谷町民は無料)

●塩谷町ホームページ (計画 PDF を掲載)



町図書館での児童・生徒作成のポップ展示



塩谷町電子図書館